

表1

令和3年度 定款に沿った事業計画
令和3年4月1日～令和4年3月31日

公益社団法人東京都山岳連盟

1. 登山道徳の啓発および普及(定款第4条第1号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
スポーツ指導者総会、研修会	スポーツ指導者資格更新のための義務研修	7月15日	50名	指導委員会
スポーツ指導者向け都岳連通信発送(要検討)	都岳連通信年間2回発送	5月(1・2号) 11月(3・4号)	-	指導委員会
少年少女登山教室	JMSCA助成金(ジュニアクライミングスクール)	12月	40名	スポーツクライミング局
JMSCA・指導委員長会議・総会zoom	全国都道府県指導委員長参加の総会(JMSCA指導委員会常任委員として参加)	2021/06/06	0	指導委員会
自然保護委員会Webサイトの運営	委員会行事、自然保護活動の紹介	毎月更新	-	自然保護委員会
山の基礎講座	個人会員、初心者、ステップアップを目指す方のための講座	年3回程度	各会15名	会員委員会 おくたま登山教室委員会

2. 登山技術の普及(定款第4条第2号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
マウンテンスクールの実施	主に登山の初心者にもむけ、実地での登山を通じて、安全な登山の啓蒙をはかる。	春、夏、秋、冬	20名	安全登山教室委員会
トレッキングスクールの実施	登山の初心者、高齢者にもむけ、実地での登山を通じて、安全な登山の啓蒙をはかる。	春、夏、秋、冬	0名	安全登山教室委員会
沢登り教室の実施	沢登りに必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	6月～8月 机上6回 実技5回	12名	安全登山教室委員会
岩登り教室の実施	岩登り、とりわけアルパインにおけるマルチピッチクライミングの基礎段階の習得をめざす。	6月～8月 机上6回 実技5回	30名	安全登山教室委員会
雪山教室の実施	雪山登山に必要な、基礎知識の習得、実践を通じた基礎技術の習得をはかる。	前年度～5月 12月～翌年度 机上6回 実技5回	20名	安全登山教室委員会
各教室オプション	各教室で学んだ基礎技術の補習、追加講習。	H30.4～H31.3 実技12回	10名	安全登山教室委員会
新 ガイドが同行する安全山行	ガイドが同行し、安全登山とは、を講習	実技・机上各10回	10名	プロガイド養成委員会
おくたま登山学校	奥多摩及び他地域での登山を通じ、山・自然の魅力を知るとともに、安全登山の基礎知識、技術の習得を図る	R3.4～R4.3 実技7回	10名	おくたま登山学校
講師派遣	(公社)東京都山岳連盟への講師の派遣の依頼にたいして、コーチ1・コーチ2の派遣をおこなう。	講習会への講師派遣等	未定	安全登山教室委員会 指導遣対部
ハイキングレスキュー講習会	埼玉県日和田山周辺にて春、秋2回実施	5月,11月	20名	指導委員会
地図読み講習会	春はオンライン読図・秋は奥多摩にて実技の2回実施	4月、10月	20名	指導委員会
新規 オンライン講座(指導)	オンラインにて読図・ロープワーク・他の机上オンライン講座を4～5回	4月～12月	40名	指導委員会
トレイルランニング委員会安全走行講習会参加	全6回により、安全にトレイルランニングを楽しむ技術や他者、自然との共存のためのマナーを身につける。	5月～9月	40名	トレイルランニング委員会
JMSCA安全登山指導者研修会	JMSCA主催の研修会へ1名派遣し、最新の技術の習得及び新しい情報へ更新していく。	9月(未定)	1名	指導委員会
JMSCA氷雪技術件研修会	JMSCA主催の研修会へ1名派遣し、最新の技術の習得及び新しい情報へ更新していく。	5月(富士山)	1名	指導委員会
JMSCA登攀技術件研修会	JMSCA主催の研修会へ1名派遣し、最新の技術の習得及び新しい情報へ更新していく。	11月(埼玉)	2名	指導委員会
深川SO業務受託事業	深川SCクライミング施設の運営管理業務	4月～3月	-	深川委員会

3. 山岳遭難の予防と遭難対策(定款第4条第3号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人員	備考
山の天気入門講座	安全登山に必要な山岳気象の基礎講座	4月～12月 10日間	30名	気象委員会
地上天気図の書き方講習会	ラジオ放送、その他メディアから得た情報を基に天気図を描く技術の習得講座	5月 1日間	5名	気象委員会
天気図の見方講習会	地上天気図、高層天気図等、安全登山に必要な天気図の読み方講習会	6月～7月 4日間	20名	気象委員会
早春の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	3月 2日間	10名	気象委員会
初冬の観天望気講習会	天気予報に頼らず、空や雲、周囲の様子を見て天気を予報する技術を学ぶ講習会	11月 1日間	12名	気象委員会
冬山の気象講習会	気象変化の激しい日本の冬山で遭難しないための山岳冬季気象情報を学ぶ講習会	11月 2日間	30名	気象委員会
気象講演会	安全登山に必要な気候変動や諸現象について学ぶ外部講師による講演会	4月～12月 1日間	35名	気象委員会
委員研修会1	気象委員会専門委員の研修会—1	10月	10名	気象委員会
委員研修会2	気象委員会専門委員の研修会—2	2月～3月	6名	気象委員会
委員研修会3	気象委員会専門委員の研修会—3	2020年度の奇数月の6回	10名	気象委員会
冬山の気象データ収集	加盟団体等を通して実際に登山した冬山の気象状況を収集し、分析し、広く登山者の冬山の安全登山に資する情報を公開する。	1月～3月	—	気象委員会
初歩のロープワーク活用法	ハイカー・縦走者向けのロープワークの講習会	4月開催	18名	遭難対策委員会
委員研修(岩場)	岩場のセルフレスキュー講習会の事前研修	5月開催	14名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「岩場のセルフレスキュー」	岩場のセルフレスキューに必要なロープワークの講習会	5月開催	18名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「山のファーストエイド」	山の事故に遭遇した時のファーストエイドの講習会	6月開催	14名	遭難対策委員会
遭難事故防止講習会	長野県警救助隊による講演	11月開催	50名	遭難対策委員会
委員研修(冬山)	冬山のセルフレスキュー講習会の事前研修	R3年1月開催	14名	遭難対策委員会
山のセルフレスキュー講習会「冬山のセルフレスキュー」	雪崩への対処と冬山搬送に必要な技術の講習会	R3年2月開催	18名	遭難対策委員会
ドローン技術研修会	都岳連、jRO	6月～11月の間に開催	10名	事務局他
救助隊研修(積雪期)	積雪期救助技術の統一	12月～3月	10名	救助隊
新規 奥多摩安全マップの作成普及	奥多摩での安全登山、山でのリスク回避のためのマップの作成と普及	通年	3名	事務局他
奥多摩開山祭	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(春)と共催	4月	10名	事務局他
谷川岳山開き	山開きへの参加と情報交換	7月	2名	事務局他
奥多摩遭難防止活動	青梅警察主催の遭難対策キャンペーン(秋)と共催	10月	3名	事務局他
谷川岳閉山式	閉山式への参加と情報交換	10月	2名	事務局他

新規	指導委員会自主研修	講師養成及び、指導法のすり合わせ	6月	10名	指導委員会
----	-----------	------------------	----	-----	-------

4. 山岳スポーツ競技の普及及び推進(定款第4条第4号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
第11回ハセツネ30K	日本山岳耐久レースの入門レースとして、早春の奥多摩を走る大会を開催	3月30日	1500	トレイルランニング委員会
第27回日本山岳耐久レース(24時間以内) 長谷川恒男CUP	美しい奥多摩の自然の中で、自己の限界に挑戦し、強い身体を鍛えていくレースとして大会を開催	10月13日-10月14日	2300	トレイルランニング委員会
スポーツクライミング・ボルダリングジャパンカップ 大会主管・選手派遣	駒沢オリンピック公園総合運動場 主管役員、選手、スタッフ派遣	R3年1月開催	100	スポーツクライミング局
モリパーク・アウトドア・アヴィレッジカップ	昭和の森総合サービスが昭島のモリパーク・アウトドア・アヴィレッジで開催するクライミング大会の主管業務の受託(1回/年)	10~11月	80	スポーツクライミング局
国体選手強化事業	国体選手の強化、育成のための諸事業	4月~12月	不定	スポーツクライミング局
ジュニア特別強化事業	将来の国体選手育成のための発掘、育成事業	通年	不定	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(リード)	都岳連主催、葛飾区水元公園(予定)にて開催。国体選手選考会ならびにジュニア強化選手選考を兼ねる大会	4~5月	80	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(ボルダリング)	都岳連主催、葛飾区水元公園(予定)にて開催。国体選手選考会ならびにジュニア強化選手選考を兼ねる大会	4~5月	80	スポーツクライミング局
スポーツクライミング東京選手権大会(スピード)	都岳連主催、昭島アウトドア・アヴィレッジにて開催。都岳連として他道府県に先駆けて取り組んでいる種目	4~5月	60	スポーツクライミング局
ボルダリングユース日本選手権大会	開催場所未定 選手・スタッフ・サポートスタッフ派遣	未定	未定	スポーツクライミング局
リードユース日本選手権大会	開催場所未定 選手・スタッフ・サポートスタッフ派遣	未定	未定	スポーツクライミング局
三重国体リハーサル大会	選手・監督・役員派遣	6月	8	スポーツクライミング局
三重国体関東ブロック大会「選手派遣」	栃木県にて開催。選手・監督・役員派遣	7月	12	スポーツクライミング局
三重国体派遣	選手・監督・役員・サポートスタッフ派遣	9~10月	13	スポーツクライミング局
ユースCクライミング選手権大会(仮称)	選手・役員・サポートスタッフ派遣	9月	10	スポーツクライミング局
関東小中学生選抜クライミング選手権大会	選手・役員派遣	11月	12	スポーツクライミング局
全国高校生選抜クライミング大会選手派遣	埼玉県加須市 選手・役員派遣	12月	8名	スポーツクライミング局
スポーツクライミング・リードジャパンカップ	開催場所未定 選手・スタッフ・サポートスタッフ派遣	未定	未定	スポーツクライミング局
小学生ボルダリング大会審判	開催場所未定 審判派遣	未定	未定	スポーツクライミング局
C級審判員認定特別研修会	開催場所未定	未定	未定	スポーツクライミング局
公認審判員・公認ルートセッ	開催場所未定	未定	未定	スポーツクライミング局

5 指導者の育成(定款第 条第 号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
山岳コーチ1養成講習会	(JSPQ資格)スポーツ指導者養成 10名	5月~翌年1月	10名	指導委員会
SCコーチ1・2養成講習会	(JSPQ資格)スポーツ指導者養成 20名	9月~12月	20名	指導委員会
山岳指導者新規認定・更新登録作業	(JSPQ資格)	5月、11月	—	指導委員会
JMSCA夏山リーダー講習会	(JMSCA公認) 10名	4月~6月	10名	指導委員会
夏山リーダー講師養成講習会派遣	(JMSCA主催) 2名	3月	2名	指導委員会

スポーツ指導者養成説明会	11月のアンケートをもとに、2月に説明会を開催し、質疑応答・受講者決定	2月	20	指導委員会
プロガイド養成	机上及び実地講習を通じてプロガイドを養成・認定	通年度	10名程度	プロガイド養成機構
ビレイ講習会	クライミング競技におけるビレイヤーの育成	未定	20名	スポーツクライミング局

6. 登山に関する刊行物、機関誌の発刊及び映像制作(定款第4条第6号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
都岳連Webサイトの運営	毎月数回更新	随時	—	広報委員会
都岳連メールマガジンの発行	6～12回/年	随時	—	広報委員会
広報だよりの発行	毎月1回発行	毎月	—	広報委員会
都岳連通信発行	都岳連通信年間4回発行。登山に関する情報、安全登山啓発関連情報伝達。	四半期	—	出版委員会

7. 登山施設の調査及び設置（定款第4条第7号関係）

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
奥多摩地区調査	奥多摩小屋関係	通期	—	

8. 山岳自然保護運動の推進（定款第4条第8号関係）

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
グリーンフェスティバル参加	大会で傷ついた自然を大会前よりさらに美しくしてお返ししようとのコンセプトのグリーンフェスティバルへの参加。	4月10月	—	トレイルランニング委員会
奥多摩小屋廃止問題に関する調査(奥多摩エコプロジェクト)	奥多摩小屋の廃止問題について、登山者の立場から、行政、関係機関に要望を行い、奥多摩小屋周辺の機能維持と環境保全を求める活動。	通年	—	自然保護委員会及び特別委員会
カタクリパトロール	奥多摩で数少ないカタクリ群生地である御前山でのカタクリ保全へ向け看板を登山道に設置、撤収する。	4月10日～5月9日	40名	自然保護委員会
自然観察会(春、秋)	一般対象の植物を中心とした自然観察会。登山マナーや自然環境保護の重要性を認識してもらう啓もう活動	5月16日 10月17日	各20名	自然保護委員会
樹木観察会(新緑、桜)	一般を対象に皇居東御苑での植物中心の自然観察会。自然環境保護の重要性を認識してもらう啓もう活動	5月3月	5月10名 3月20名	自然保護委員会
クリーンキャンペーン	世界環境デーに合わせ、登山道の清掃やゴミ袋配布を通じた登山マナーの啓もう活動	6月6日	50名	自然保護委員会
水質調査	御前山での水質の定点調査 高尾山での全国一斉調査の参加 合計7か所を実施	6月5～6日	5名	自然保護委員会
自然保護指導員認定講習会	日山協自然保護指導員資格取得のための机上及び実地講習会。奥多摩の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	11月14日	新規5名 実地1名	自然保護委員会
自然保護指導員認定講習会(プロガイド、スポーツ指導員向け)	プロガイド、スポーツ指導員を対象に、日山協自然保護指導員資格取得のための実地講習会。奥多摩の自然観察を通じ、指導員の心得や活動等について解説	11月14日	10名	自然保護委員会
雲取調査山行(夏・冬)	雲取山の環境調査。シカの被害等、山荘・避難小屋のトイレ使用状況などの定点調査。閉鎖された奥多摩小屋周辺の環境調査等。	7月10～11日 12月11～12日	各4名	自然保護委員会
新 規 森の再生事業	森林再生・植林などを推進している行政、企業、財団等のリサーチ。事業候補地のリサーチ、選定。計画立案。	随時		自然保護委員会
指導員通信発行(秋・春)	自然保護指導員に対する情報発信、および委員会事業等の参加呼びかけ。はがきからメールにシフト中。臨時号はメール配信で行う	4月10月	—	自然保護委員会
日山協自然保護委員総会	全国各岳連の自然保護委員が一堂に会し、自然保護の課題を討議、情報交換する。	秋	4名	自然保護委員会
自然保護指導員研修会、公開講演会	日山協自然保護指導員資格更新及び研鑽のための机上講習会。指導員の実際の活動に役立つ知識の研鑽。及び自然保護に関心のある一般登山者向けの公開講演会。日山協自然保護委員会主催、当委員会主管で行う。	1月30日	50名	自然保護委員会
おもしろ地球観察会	一般対象の地学勉強会。自然環境保護の重要性を認識してもらうとともに、奥多摩の地形・地層の知識を深めてもらう啓もう活動。	9月26日	20名	自然保護委員会
委員研修会	自然観察を通じて、動植物・地学等の研鑽を積み山岳環境に関する専門委員及び自然保護指導員のスキルアップを図る	6月27日	15名	自然保護委員会
自然保護指導員認定	日山協自然保護指導員の新規(5名)・更新者(20名)の認定作業	3月	新規5名 更新20名	自然保護委員会
山岳団体自然環境連絡会	日山協、芳山、日本山岳会などの自然保護部門の連絡会。情報共有と課題解決を協働して取り組む。	毎月	4名	自然保護委員会
自然公園指導員活動報告まとめ	都岳連推薦の環境省自然公園指導員(20名)の年間活動報告をまとめて環境省に提出	4月	—	自然保護委員会

9 海外登山・国際交流

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
ソウル山岳連盟との交流事業	ソウル市山岳連盟訪問・情報交換ならびに交流登山	未定	8名	事務局 海外委員会
第38回海外の山を知ろう	講演者等は未定	6月	30名	海外委員会
第39回海外の山を知ろう	講演者等は未定	11月	30名	海外委員会
ソウル山岳連盟との交流事業	日韓山岳会の遭難対策、救助技術の情報交換ならびに交流登山	未定	未定	救助隊

10. 登山に係る保険・共済事業の運営(定款第4条第10号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
新規 山岳保険・共済制度の普及啓蒙	山岳保険・共済制度に関する講習(3回)並びに情報発信、講師派遣	未定	20	遭難対策委員会 事務局

11. その他本会の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第11号関係)

事業計画	事業の概要	実施時期	催行人数	備考
講習会のリスク管理(安全対策中心)	講習会等での事故事例をまとめ東京都山岳連盟で開催する各種講習会・教室等での事故防止のガイドを作成する。	通年アナウンス	—	コンプライアンス委員会
倫理に関する勉強会	公益社団法人における活動において求められる倫理行動、不適切な行為を学ぶ	6月か7月	20	財務部、総務部 コンプライアンス委員会

	事業数	累計参加者数
講習会	35	2,589
研修会	28	459
競技会	15	4,142
合計	78	7,190